

Title	価値要素を用いたIoTビジネスモデルの価値提案発想法
Author(s)	新庄, 貞昭
Citation	
Issue Date	2025-03
Type	Thesis or Dissertation
Text version	ETD
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10119/19918">http://hdl.handle.net/10119/19918</a>
Rights	
Description	Supervisor: 内平 直志, 先端科学技術研究科, 博士

## 概要

近年、デジタルトランスフォーメーション（DX）の必要性が高まっているが、DXに取り組めていない企業は多く、革新的なビジネスモデルを考案できないという問題を抱えている。本研究の目的は、このような企業に向けて、革新的なビジネスモデルとなる「発想」を支援する方法を提案することである。

ビジネスモデルキャンバス（BMC）における価値提案（VP）を効果的に発想する方法として、既存の「W型問題解決法」と「TRIZ Prism」の発想法を基本に据えて、そこに「価値要素」の分類を用いて具体的問題を抽象化し、その解決法を具体的解決案に落とし込む手法を提案する。提案手法の効果測定として、社会人学生を含む大学院生を対象に、IoT ビジネスを題材としたビジネスモデルのブラッシュアップ作業を行い、作業を通じて発想が広がったか否かのアンケートをとった。その結果、提案手法による効果がみられた。これは価値要素の分類が顧客要求の本質を表していることから、抽象化した顧客要望の構造をアナロジー思考でとらえ易くなり、効果的な VP の発想ができたものと考えられる。さらに本提案手法に社会的価値の VP を加えるための視点を追加し、試行ケースを提示した。

本研究の提案手法により、顧客と社会に価値を提案することができ、VP の考案に悩む企業に対する貢献が期待できる。また本研究は、イノベーションデザイン研究の一部に属する。VP 発想を補助する手法の思考の働きを「価値要素を用いた VP 発想モデル」として提示できた。また、そこで働くアナロジー思考の働きを説明できたことで、発想法研究に貢献ができた。

キーワード：価値要素、VP 発想法、W型問題解決法、TRIZ Prism、アナロジー思考、社会的価値